

平成 19 年 10 月 15 日

高山 憲之 殿

科学技術・学術審議会学術分科会  
科学研究費補助金審査部会  
人文・社会系委員会主査 水野 紀子

科学研究費補助金「特別推進研究」の中間評価結果について

研究課題名：「世代間問題の経済分析」

評価結果：A（現行のまま推進すればよい）

中間評価に係わる意見：

年金・医療・雇用に関する世代間問題を考察する研究目的に即して5つの研究班が構成され、論文執筆・発表に加えて、国際会議の開催、実証分析に向けた準備が順調に推移している。また、時節の年金問題に対する学術分析が行われ、新聞論壇等を通して社会一般へもタイムリーな議論が提供されている。これらの成果の中でも、既に顕著な成果を上げている理論研究と、調査方法の工夫を伴いながら順調に実施された引退プロセス調査については、高く評価できると思われる。

また、東アジアの高齢化への含意については、先進国と新興国間の年金・医療制度の構造的な違い等に基づき、明確な焦点を絞り込み、喫緊の課題に対して政策科学として対応に優先順位をつけることが重要であると思われる。